

SSKS

2024. 9月号

No. 566

# せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



## 夏休みに「はたらく」を体験して



【 重たい荷物も、先輩の利用者と力を合わせて 】

今年も夏休み期間に、『夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験』を行ないました。特別支援学校高等部2・3年生など総勢25名の生徒が参加し、さまざまな活動を体験しました。

どんなところではたらくの？活動ってどんなことをするの？わからないことや、知りたいことがたくさんあると思います。先輩利用者と一緒にってはたらく、活動を体験することで、卒業後の将来に向けて選択肢が広がりますように。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



## 夏季インターンシップLet's夏のしごと体験

### ～卒業後の生活を見据えて～

今夏も、法人独自のとりくみである「夏季インターンシップLet's夏のしごと体験」を開催しました。主に特別支援学校高等部2・3年生を対象に、学校の夏休み期間を活用して5日間、当法人事業所を利用することで「はたらく」ことはもちろんのこと、さまざまな活動を通して実習や卒業後の生活のイメージを持っていただくとともに、ご本人や保護者の方が安心して進路選択できるようにすることを目的としています。

今年の参加者は就労継続支援B型事業所20名、生活介護事業所5名、総勢25名となりました。そのうちの半数が就労継続支援B型事業所への体験希望があり、卒業後、活動より、はたらくを中心とした支援を希望するニーズの高さがうかがえます。今回は、生活介護事業所のななほしワークス、就労継続支援B型事業所の八幡作業所でのインターンシップの様子を紹介します。

### 活動を通して、得意なことを知る

ななほしワークスでインターンシップを行ったAさんは、6月に当法人の就労継続支援B型事業所ワークイン関前で2週間実習を行ないました。細かな作業が得意な方で、ワークイン関前の実習の際も生産活動にとりくむことができていましたが、集中力を維持することが難しく1日の終わりには疲れた様子がうかがえました。また、言葉の指示よりも視覚的な支援があった方が良いという評価でした。実習の結果を踏まえて、今回の夏のしごと体験では、生活介護事業所を体験したいとの希望があり、ななほしワークスでインターンシップを実施することとなりました。

ななほしワークスでは、作業活動、アート活動、運動活動、音楽活動、レクリエーション活動や図書館利用を目的としたウォーキング活動などさまざまな活動を曜日別に分けて実施しています。その中で特に印象深かったのが、アート活動での様子です。今回は星空をテーマに、いろいろな技法（ドリッピング技法、スパッタリング技法、にじみ絵技法）を選んで、制作できるように準備をしました。Aさんは見本を見ながら集中してとりくむことが得意な様子で、見本に忠実ながらもいろいろな技法や色を試しながら作品を仕上げていきました。このことから、こちらの意図を汲んで活動にとりくむ力がある方だということわかります。また、さまざまなことを試したいという意欲の高さや応用力がうかがえました。残りの学生生活や卒業後の支援の中で、さまざまな経験を経てAさんが成長していくことを期待しています。



【試しながら、どのような作品に仕上げるか】



【見本を捉えながらも、オリジナルの作品に】



## 一緒に働く経験を通して

就労継続支援B型事業所の八幡作業所で、5日間のインターンシップを体験したBさんはダイレクトメールの封入、封緘作業を行いました。昨年度八幡作業所で、1日体験をしているBさんは今回2回目ということもあり、緊張しながらも少し笑顔が出てリラックスしている様子でした。

ダイレクトメールの作業は、お客様に届く製品をさまざまな工程を経て分担しながら利用者全員で作ります。Bさんは手元を見ながら、一つひとつ資材を丁寧に扱い、作業を行う姿が見られました。初めは資材を他の利用者から受け取ることに戸惑っていましたが、徐々に自分から資材を取りに行き、終わると自分で次の場所へ持っていくことができるようになりました。

八幡作業所では自ら作業に向かうために一人ひとりに合ったわかりやすい環境を考え、作業を提供しています。例えば、封入する資材の表裏や向きなどを間違えずに封入するために見本となる資材を卓上に置いてわかりやすくしています。また、封入が終わった資材を色のついた箱へ持っていくなど視覚的な支援を行うことでわかりやすく、自ら作業を継続できるように工夫しています。Bさんは職員、利用者と一緒に資材の入った段ボールを受け渡す運搬作業を体験しました。軽くて小さなものから重いものまで一緒に運び、他の利用者と協力してはたらき、職員や利用者から「頑張ったね」と声をかけられると少しはにかんだような印象でした。

インターンシップの5日間という短い期間でしたが、職場の中で実際に体験することで、八幡作業所ではたらくというイメージを持つことができたと考えています。インターンシップの体験や今後の実習を経て、卒業後に安心した環境のもとで自分の力を発揮し、成長できる場の一つになることができればと思います。

## 進路を見据えたさまざまな体験

インターンシップを体験するにあたって、体験前に事業所見学をしたのち、希望先を決めていただいています。今回、「卒業後、活動を中心とした支援か、はたらくを中心とした支援か本人に合っているのはどちらかまだわからないため、生活介護事業所か就労継続支援B型事業所かを決めかねている」との意見がありました。当法人の生活介護3事業所、就労継続支援B型4事業所では、それぞれの事業所間の機能の繋がりを意識して事業を展開しています。そのため、生活介護事業所でもはたらくことに繋がる支援や活動を行ないます。就労継続支援B型事業所でも生涯を通して必要な力を育てるための支援や活動を行います。本人の現状に合わせ、ライフステージに沿った支援を展開できるようにすることが大切であると考えています。インターンシップを利用し、その後の実習とあわせて、さまざまな事業所を体験し、卒業後の生活のイメージを持つことができるようにする機会と捉えていただければと考えています。



【きれいに仕上げるために一つひとつを丁寧に】

文責：東 竜太郎（ななほしワークス）/菅野 いつみ（八幡作業所）

## きょうされん夏季販売へのご協力ありがとうございました

武蔵野東学園 事務局  
武蔵野東第一幼稚園  
武蔵野東第二幼稚園  
武蔵野東小学校  
武蔵野東中学校

武蔵野東高等専修学校  
武蔵野東教育センター  
筑波大学附属視覚特別支援学校  
テンミリオンハウス月見路  
その他、個人の皆さま



## 【とびっくす】～インスタだより vol.15～ 実践塾の研修会



7月26日、27日。6年ぶりに公益財団法人ヤマト福祉財団様による夢へのかけ橋実践塾のフォローアップ研修会が行われました。

新潟、愛知、京都、姫路、九州など各地からの参加があり、チャレンジャー等各事業所を見ていただきました。2日間を通して参加者同士のとりくみの報告や意見交流を行い、アドバイスを学ぶことができました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。それぞれの地でともに頑張りましょう！



【見学の様子】

### 今月の動向 ～令和6年8月～

1日(木) 中間管理職層研修(職場のハラスメント)  
4日(日) 維雅幸育会 30周年式典出席  
5日(月) 東京都立練馬特別支援学校教諭研修受入  
7日(水) 常任理事会  
13～19日(火～月) 夏季休業  
21日(水) 所長会議

### 来月の予定 ～令和6年9月～

5日(木) 実習調整会議  
6日(金) 就職説明会、管理職層研修  
11日(水) おひさま学習会・生活介護学習会  
常任理事会  
13日(金) 南町福祉の会説明  
17日(火) さくらんぼ学習会  
地域生活支援部学習会  
19・20日(木・金) チャレンジャー旅行  
24日(火) B型事業所学習会  
26・27日(木・金) ワークイン関前旅行  
29日(日) オープンカレッジ東京(生涯学習)講座



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50円